

2011年2月13日 スウェーデン
シトロエン・レーシング発

世界ラリー選手権(WRC)スウェーデン
～シトロエン DS3WRC、堂々のデビュー～

2011年 WRC の初戦となるスウェディッシュ・ラリーで、シトロエン DS3WRC がデビューを飾り、セバスチャン・オジェ／ジュリアン・イングラシア組が 4 位、セバスチャン・ローブ／ダニエル・エレナ組が 6 位となりました。また、追加ポイントが与えられる最終ステージの「パワーステージ」ではシトロエン・タル・ワールドラリーチームの DS3WRC がワン・ツーフィニッシュを飾っています。



今回のラリーでは、目まぐるしく変わるロードコンディションに苦しめられ、マシンのパフォーマンスにも大きな影響が出ました。金曜日には、スタート前に積もった新雪が出走順の早い選手にハンディとなり、最終日は風がなかったために雪が空中にとどまり、ドライバーの視界を遮りました。

オジェは、「とても難しかった」とジュリアン・イングラシアは振り返ります。「ボンネットの前に白いペールがかかった状態だった。風がないものだから、雪が空中にとどまって宙を浮いていた」
「高速セクションでは、視界を得るためだけに背伸びしなくちゃいけないところもあった」とコメント。「できるだけ危険は冒したくなかったんだけど。路面が何層ものアイスバーンに覆われた状態だと、先頭を行くのがベストで、ミッコ・ヒルボネンはそのアドバンテージを利用できたと思う。後ろからだ目目の前の雪が邪魔になって、取るべきルートを見つけるのが難しかったよ」と付け加えます。

トートープ 2(SS20)を終えた段階で 3 位につけていたオジェでしたが、ラメン 2(SS21)で後退します。「マシンのリアが滑ってしまい、雪の壁にぶつかって、エア・フィルターがふさがれてしまった。ステージの最後の頃は、エンジンパワーが落ちてきてしまった」

結局、オジェは4位でフィニッシュ、最終のパワーステージでの活躍で追加の3ポイントを得ました。「スウェディッシュラリー2回目でこの成績はとても満足しているよ。このラリーでは大きな手応えを得た。困難な状況でも、シトロエン DS3WRC が速いということを示すことができた。グラベルで走るのが待ち遠しい、きっと抜群の走りを見せるよ」

前後のタイム差が開いた6位となったセバスチャン・ローブは落ち着いた走りでもラリーを終えました。「上位を狙うのは無理だったから、しっかりフィニッシュすることだけを考えた。たとえ上位じゃなくても、開幕戦でポイントをしっかり稼いでおかなくてはならなかったしね。パワーステージでは追加の2ポイントも手に出来た。今回6位だったから、ラリー・メキシコでは有利な出走順になりそうだね」

シトロエン・レーシング・テクノロジーズが用意したシトロエン DS3WRC で出場したペター・ソルベルグとキミ・ライコネンも、シーズン最初のラリーを無事完走しました。ソルベルグは5位、ライコネンは8位フィニッシュ。今後の活躍が期待できそうです。



「シトロエン DS3WRC は、デビュー戦で安定性と速さの両方を証明できました」とシトロエン・レーシングを率いるオリビエ・ケネルは振り返ります。「スウェディッシュラリーは特殊な路面。苦しい戦いになることは、スタート前からわかっていたことです。メンバーの真の実力は次のグラベルで見ていただきましょう」

シトロエン DS3WRC は、スパイク・タイヤを履き替え、メキシコへと向かいます。次戦ラリー・メキシコは高地でのグラベル、2011年3月3～6日の開催です。

プジョー・シトロエン・ジャポンでは、2011年もシーズンを通してWRCのリザルトをタイムリーに配信、新しく投入されたDS3WRCの活躍をお伝えしていくことによってシトロエン車の高いパフォーマンスを広くアピールして参ります。

